

【令和3年度評価】中項目ごとの検証・確認における論点整理等

自己評価の区分		判断の目安
IV	年度計画を上回っている	計画の実施状況が100%超
III	概ね年度計画どおり実施している	計画の実施状況が90%超100%以下
II	年度計画を下回っている	計画の実施状況が60%超90%以下
I	年度計画を大幅に下回っている	計画の実施状況が60%以下

地方独立行政法人岐阜県立多治見病院

項目 No.	R3年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証(案)										
		<ul style="list-style-type: none"> ・特に進捗した取組 ・その他の主な取組 ・今後の課題・問題点(●) 	自己評価											
01	<p>1 高度医療機器の計画的な更新・整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新中央診療棟整備に伴い必要となる医療機器について、院内の各部門とヒアリングを実施し、購入計画、資金計画の更新を行う。 ・高度医療機器のうち特に老朽化が激しく診療に必要なMR I、CTなどの医療機器を中心に整備を行う。 <p>2 医師、看護師、コメディカル等の医療従事者の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ・看護職員修学資金貸付制度、ガイダンスへの参加、インターネットや新聞などの広報媒体を活用し、優秀な看護職員の確保に努める。 ・定年を向かえた医師、看護師等のうち、病院経営に寄与すると認められる職員の再雇用を実施する。 ・大学医局との連携や代務医の招聘などにより、引き続き医師確保に努める。 ・医師や看護師の業務負担軽減を推進するため、引き続き医師事務作業補助者、看護助手、介護福祉士などの確保に努める。 	<p>1 高度医療機器の計画的な更新・整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新中央診療棟整備に伴い必要となる医療機器について、院内の各部門とヒアリングを実施し、購入計画、資金計画の更新を行った。 ・高度医療機器のうち特に老朽化が激しく診療に支障をきたすと思われる医療機器を中心に整備を行った。 <p>【更新・整備した主な機器】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>機器名</th> <th>整備目的・用途</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>MRI 撮影装置 (3.0T)</td> <td>強力な磁石を用いた撮影装置で、放射線を使わず磁石と電磁場の力を利用して身体の臓器や血管を様々な断面で撮影する。</td> </tr> <tr> <td>PET-CT 撮影装置</td> <td>放射性医薬品 (FDG) を投与し、その体内分布を画像化することにより、腫瘍の大きさや場所の特定、良性・悪性の区別、転移状況や治療効果の判定などを行う。</td> </tr> <tr> <td>人工心肺装置</td> <td>主に心臓外科手術中の生命維持に使用する。</td> </tr> <tr> <td>低温蒸気ホルムアルデヒド (LTSF) 滅菌装置</td> <td>低温蒸気ホルムアルデヒドを用いて、手術器具等の滅菌に使用する。</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 医師、看護師、コメディカル等の医療従事者の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中途採用の常勤医師を13名採用し、医師数は5名増となった。 	機器名	整備目的・用途	MRI 撮影装置 (3.0T)	強力な磁石を用いた撮影装置で、放射線を使わず磁石と電磁場の力を利用して身体の臓器や血管を様々な断面で撮影する。	PET-CT 撮影装置	放射性医薬品 (FDG) を投与し、その体内分布を画像化することにより、腫瘍の大きさや場所の特定、良性・悪性の区別、転移状況や治療効果の判定などを行う。	人工心肺装置	主に心臓外科手術中の生命維持に使用する。	低温蒸気ホルムアルデヒド (LTSF) 滅菌装置	低温蒸気ホルムアルデヒドを用いて、手術器具等の滅菌に使用する。	IV	高度医療機器の更新、医療従事者の増加等により、質の高い医療の提供ができており、十分に評価できる。
機器名	整備目的・用途													
MRI 撮影装置 (3.0T)	強力な磁石を用いた撮影装置で、放射線を使わず磁石と電磁場の力を利用して身体の臓器や血管を様々な断面で撮影する。													
PET-CT 撮影装置	放射性医薬品 (FDG) を投与し、その体内分布を画像化することにより、腫瘍の大きさや場所の特定、良性・悪性の区別、転移状況や治療効果の判定などを行う。													
人工心肺装置	主に心臓外科手術中の生命維持に使用する。													
低温蒸気ホルムアルデヒド (LTSF) 滅菌装置	低温蒸気ホルムアルデヒドを用いて、手術器具等の滅菌に使用する。													

項目 No.	R 3年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価					自己 評価	評価委員会の検証（案）																																																																										
		<ul style="list-style-type: none"> ・特に進捗した取組 ・その他の主な取組 ・今後の課題・問題点（●） 																																																																																
	<ul style="list-style-type: none"> ・仕事と家庭を両立させるため、育児部分休業の活用の推進や、院内保育施設での夜間保育・休日保育・病児保育を引き続き実施するとともに、職員のニーズに対応できる体制の維持に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 福利厚生対策として、院内保育施設にて、夜間保育・休日保育・病児保育を実施した。夜間保育（木曜日）利用者数は延べ19人、病児保育利用者数は延べ53人、休日保育実施日数は106日。 																																																																																
4	<p>特定行為看護師、認定看護師等の資格取得の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・認定看護師教育課程への派遣にあたっては、新たな認定看護師制度にもとづく「特定行為研修を含む研修」を実施している教育機関への派遣を優先させる。 ・「心不全看護認定看護師教育課程」及び「特定行為：外科術後病棟管理パッケージ」について、前年度からの受講を継続する。 ・「放射線看護認定看護師」についても1名の派遣を継続し、実習協力施設としてそれぞれの指定研修機関との連携を図る。 ・特定行為研修修了者の医行為実施体制整備や役割発揮のための支援体制構築を行う。 	<p>【医療従事者数】 単位：人 (各年度末時点)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医師</td> <td>123</td> <td>126</td> <td>136</td> <td>151</td> <td>156</td> </tr> <tr> <td>看護師・助産師</td> <td>472</td> <td>484</td> <td>476</td> <td>490</td> <td>477</td> </tr> <tr> <td>コメディカル</td> <td>167</td> <td>173</td> <td>185</td> <td>199</td> <td>199</td> </tr> </tbody> </table>					区分\年度	H29	H30	R1	R2	R3	医師	123	126	136	151	156	看護師・助産師	472	484	476	490	477	コメディカル	167	173	185	199	199																																																				
区分\年度	H29	H30	R1	R2	R3																																																																													
医師	123	126	136	151	156																																																																													
看護師・助産師	472	484	476	490	477																																																																													
コメディカル	167	173	185	199	199																																																																													
6	<p>専門性を発揮したチーム医療の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ICT（感染防止対策チーム）、NST（栄養サポートチーム）やRST（呼吸ケアサポートチーム）、精神科リエゾンチーム、褥瘡対策チーム、PCT（緩和ケアチーム）、糖尿病チームなどの活動を推進する。 ・医師の負担軽減を進めるため、放射線検査における造影剤注入や抗がん剤治療時の静脈路確保等について、教育プログラムを設け人材育成を行うとともに、医師、放射線技師と協働し安全管理体制を構築し、医師から看護師 	<p>4 特定行為看護師、認定看護師等の資格取得の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「心不全看護認定看護師教育課程」及び「特定行為：外科術後病棟管理パッケージ」を修了したことにより、新たに2名が特定行為研修修了者となり、特定行為研修修了者は計3名となった。 ・そのうち1名は「心不全看護認定看護師」資格も取得した。「認知症看護認定看護師」資格も新たに1名が取得し、令和3年度末時点で在籍する専門看護師は4名、認定看護師は25名（2名増）となった。 <p>【認定看護師・専門看護師数】 単位：人（各年度末時点）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>分野</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="13">認定</td> <td>皮膚・排泄ケア</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>集中ケア</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>緩和ケア</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>がん化学療法看護</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>がん性疼痛看護</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>感染管理</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>新生児集中ケア</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>摂食・嚥下障害看護</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>救急看護</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>慢性心不全看護</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>脳卒中リハビリテ</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table>					区分	分野	H29	H30	R1	R2	R3	認定	皮膚・排泄ケア	2	3	3	3	3	集中ケア	2	2	2	2	2	緩和ケア	1	1	1	1	1	がん化学療法看護	1	2	2	3	3	がん性疼痛看護	1	1	1	1	1	感染管理	3	2	2	2	2	新生児集中ケア	1	1	1	1	1	摂食・嚥下障害看護	1	1	1	1	1	救急看護	1	1	1	1	1	慢性心不全看護	1	1	1	1	1	脳卒中リハビリテ	1	1	1	1	1		
区分	分野	H29	H30	R1	R2	R3																																																																												
認定	皮膚・排泄ケア	2	3	3	3	3																																																																												
	集中ケア	2	2	2	2	2																																																																												
	緩和ケア	1	1	1	1	1																																																																												
	がん化学療法看護	1	2	2	3	3																																																																												
	がん性疼痛看護	1	1	1	1	1																																																																												
	感染管理	3	2	2	2	2																																																																												
	新生児集中ケア	1	1	1	1	1																																																																												
	摂食・嚥下障害看護	1	1	1	1	1																																																																												
	救急看護	1	1	1	1	1																																																																												
	慢性心不全看護	1	1	1	1	1																																																																												
	脳卒中リハビリテ	1	1	1	1	1																																																																												

項目 No.	R3年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価					自己 評価	評価委員会の検証（案）																														
		<ul style="list-style-type: none"> ・特に進捗した取組 ・その他の主な取組 ・今後の課題・問題点（●） 																																				
	へのタスクシフトを進める。 ・クリニカルパスの新電子カルテシステムへの登録を進める。また、新電子カルテシステムの機能にあるバリエーション登録を活かし、クリニカルパスの分析・評価・フィードバックする手順等の検討を進める。																																					
		ーション看護																																				
		糖尿病看護	1	1	1	2	2																															
		認知症看護	1	1	1	1	2																															
		訪問看護	1	1	1	1	1																															
		手術看護	—	1	1	1	1																															
		透析看護	—	1	1	1	1																															
		心不全看護	—	—	—	—	1																															
		小 計	18	21	21	23	25																															
		専門																																				
		がん看護	2	2	2	3	3																															
		急性・救急看護	1	1	1	1	1																															
		認定看護管理者	1	1	1	1	1																															
		<p>6 専門性を発揮したチーム医療の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ICT（感染防止対策チーム）、NST（栄養サポートチーム）やRST（呼吸ケアサポートチーム）、精神科リエゾンチーム、褥瘡対策チーム、PCT（緩和ケアチーム）、糖尿病チームなどの活動の要となる専門、認定看護師の活動時間確保等を行い、チーム活動支援を継続している。特にICTは、院内だけでなく、地域の医療機関にも新型コロナウイルス感染対策の支援を行った。 ・ 医師の負担軽減を進めるための「IV ナース（造影剤注入や抗がん剤治療時の静脈路確保）」育成の教育プログラムを開始し、看護師11名が院内資格を取得した。入院病棟での抗がん剤治療時の静脈確保にむけて運用手順の整備を進めている。 ・ クリニカルパスの承認パスが147件となり、前年度より19件新規承認があった。全科平均パス使用率は、45%である。バリエーション分析については、データ収集し分析できるよう件数を集めている。 <p>【診療科別クリニカルパスの内訳】 単位：件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>診療科名\年度</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>産婦人科</td> <td>28</td> <td>28</td> <td>17</td> <td>19</td> <td>19</td> </tr> <tr> <td>整形外科</td> <td>14</td> <td>15</td> <td>12</td> <td>12</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>呼吸器科</td> <td>23</td> <td>23</td> <td>2</td> <td>4</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>外科・消化器外科</td> <td>15</td> <td>22</td> <td>12</td> <td>11</td> <td>13</td> </tr> </tbody> </table>							診療科名\年度	H29	H30	R1	R2	R3	産婦人科	28	28	17	19	19	整形外科	14	15	12	12	12	呼吸器科	23	23	2	4	4	外科・消化器外科	15	22	12	11	13
診療科名\年度	H29	H30	R1	R2	R3																																	
産婦人科	28	28	17	19	19																																	
整形外科	14	15	12	12	12																																	
呼吸器科	23	23	2	4	4																																	
外科・消化器外科	15	22	12	11	13																																	

項目 No.	R 3年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価					自己 評価	評価委員会の検証（案）																																				
		<ul style="list-style-type: none"> ・特に進捗した取組 ・その他の主な取組 ・今後の課題・問題点（●） 																																										
		<table border="1"> <tr> <td>循環器科</td> <td>13</td> <td>14</td> <td>17</td> <td>22</td> <td>23</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>137</td> <td>121</td> <td>68</td> <td>74</td> <td>76</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>230</td> <td>223</td> <td>128</td> <td>142</td> <td>147</td> </tr> </table> <p>【クリニカルパス利用率】</p> <table border="1"> <tr> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> </tr> <tr> <td>46.8%</td> <td>47.5%</td> <td>46.6%</td> <td>45.3%</td> <td>45.0%</td> </tr> </table>	循環器科	13	14	17	22	23	その他	137	121	68	74	76	合 計	230	223	128	142	147	H29	H30	R1	R2	R3	46.8%	47.5%	46.6%	45.3%	45.0%														
循環器科	13	14	17	22	23																																							
その他	137	121	68	74	76																																							
合 計	230	223	128	142	147																																							
H29	H30	R1	R2	R3																																								
46.8%	47.5%	46.6%	45.3%	45.0%																																								
02	<p>1 待ち時間の改善等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開業医への訪問活動、効果的な広報等の実施により、紹介患者数及び高度医療機器利用率の向上を図る。 ・新たな地域医療連携システムの導入検討に際して、直来患者の縮減や開業医との連携が深まるよう検討を進める。 ・生理検査で実施した呼出ベルシステムについて、利用状況等を分析し、外来や他の検査窓口への利用拡大について検討を進める。 ・外来患者メール呼出システムについては、不具合が無いよう動作環境を強化するとともに、利用拡大の検討を進める。 ・千年カルテにより患者個人が処方箋や検査結果の参照ができるシステムの利用拡充を図る。 ・A I 問診システムを活用した来院前問診の展開を検討し、受診までの時間縮減を図る。 ・よろず相談、かかりつけ医紹介センターの利用を促進し、逆紹介を推進する。 <p>2 院内環境の快適性の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・老朽化した空調配管等の改修工事について、新中央診療棟整備を見据え計画的に実施し、 	<p>1 待ち時間の改善等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域医療連携センター（前方連携・後方連携）による開業医への訪問活動の実施（15件）。診療科医師も同行し、紹介患者獲得へ向けPR活動を実施した。 ・各診療科や部門について、PR用パンフレットを作成・配布した。 ・新たな地域医療連携システムの導入を図った。 ・生理検査の呼出ベルシステムの新中央診療棟における導入に向け、関係業者からの情報収集を図った。 ・A I 問診システムを12月に稼働し、救急外来において研修医等が運用を開始した。 <p>【平均待ち時間】 単位：分</p> <table border="1"> <tr> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> </tr> <tr> <td>17</td> <td>21</td> <td>12</td> <td>—</td> <td>19.8</td> </tr> </table> <p>※待ち時間は病院全体の時間</p> <p>【CT、MR I 検査件数】 単位：件</p> <table border="1"> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> </tr> <tr> <td>CT件数</td> <td>32,872</td> <td>34,511</td> <td>33,727</td> <td>31,307</td> <td>32,682</td> </tr> <tr> <td>MR I 件数</td> <td>10,208</td> <td>10,766</td> <td>10,759</td> <td>9,677</td> <td>10,366</td> </tr> </table> <p>【手術件数】 単位：件</p> <table border="1"> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> </tr> <tr> <td>手術室</td> <td>4,933</td> <td>4,799</td> <td>4,857</td> <td>4,185</td> <td>4,509</td> </tr> </table>	H29	H30	R1	R2	R3	17	21	12	—	19.8	区分\年度	H29	H30	R1	R2	R3	CT件数	32,872	34,511	33,727	31,307	32,682	MR I 件数	10,208	10,766	10,759	9,677	10,366	区分\年度	H29	H30	R1	R2	R3	手術室	4,933	4,799	4,857	4,185	4,509	IV	<p>待ち時間の改善、患者給食の改善及び栄養指導が十分評価できる。</p> <p>また、患者満足度が向上した点も評価できる。</p>
H29	H30	R1	R2	R3																																								
17	21	12	—	19.8																																								
区分\年度	H29	H30	R1	R2	R3																																							
CT件数	32,872	34,511	33,727	31,307	32,682																																							
MR I 件数	10,208	10,766	10,759	9,677	10,366																																							
区分\年度	H29	H30	R1	R2	R3																																							
手術室	4,933	4,799	4,857	4,185	4,509																																							

項目 No.	R 3年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価					自己 評価	評価委員会の検証（案）																																		
		<ul style="list-style-type: none"> ・特に進捗した取組 ・その他の主な取組 ・今後の課題・問題点（●） 																																								
	<p>快適な院内環境を整備する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・患者からの施設に係る意見、要望について、適切な対応を行う。 ・病院給食については、治療効果を高めるため、指示食全量摂取を目標とし、満足いただけるより良い食事を提供する。 ・化学療法の副作用や機能低下などで喫食量が低下した患者へ、早期に介入し喫食量増加を目指す。特別食・がん・低栄養・嚥下食喫食者の栄養指導も含め、栄養管理を継続的に行っていく。 ・栄養不良が疑われる患者に対しては、NST（栄養サポートチーム）の介入で早期改善を図る。 <p>4 患者中心の医療の提供及び患者満足度の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・患者サポート体制カンファレンスを継続して実施し、患者からの要望等を把握・分析し、患者の権利の保障に努める。 ・がん相談支援センターやがんサロンの役割を周知するとともに、患者やその家族のニーズを把握し、有益な情報の提供に努める。 	<table border="1"> <tr> <td>中放内視鏡</td> <td>2,778</td> <td>2,858</td> <td>2,912</td> <td>2,907</td> <td>3,207</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>7,711</td> <td>7,657</td> <td>7,769</td> <td>7,092</td> <td>7,716</td> </tr> </table> <p>2 院内環境の快適性の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・患者や職員からの要望を意見箱や衛生巡視などから収集し、要望に可能な限り対応した。 ・患者給食の質の向上を目指し、毎食の残食調査、年6回嗜好調査で患者の満足度を調査。医師・管理栄養士及び栄養管理委員会委員による検食結果と併せて給食委託会社と協議し、献立や食材の見直しをした。 ・喫食量の低下した患者や低栄養の患者に介入し、食事量増加、低栄養改善を図った。 <p>【喫食量の低下・低栄養患者への取り組み】 単位：件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目\年度</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>栄養指導</td> <td>5,113</td> <td>4,173</td> <td>4,585</td> <td>5,317</td> <td>5,262</td> </tr> <tr> <td>栄養管理</td> <td>2,140</td> <td>3,009</td> <td>5,700</td> <td>7,439</td> <td>8,691</td> </tr> <tr> <td>NST介入</td> <td>442</td> <td>488</td> <td>555</td> <td>696</td> <td>1,240</td> </tr> </tbody> </table> <p>4 患者中心の医療の提供及び患者満足度の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・患者サポートカンファレンスにおいて、127件の症例を検討した。 ・地域の病院や公立の図書館等に各種パンフレットを配布し、がん相談支援センターやがんサロンの役割等について案内した。 ・がん相談の対応内容は、症状や副作用、後遺症、日常生活、介護や看護、不安や精神的苦痛、患者と家族の関係が多く、それぞれのケースに応じて対応した。 ・患者満足度調査（外来の回収率52.4%、病棟の回収率34.6%）を実施したところ、外来部門は「総合評価点」、「受診満足度」が低下。入院部門は「総合評価点」、「受診満足度」が向上した。 ・診察後の支払いまでの待ち時間は+4.4ポイントと大きく向上。医師の言葉遣いや態度は0.6ポイント減、施設の老朽化により雰囲気満足度が12%と大きく低下。 	中放内視鏡	2,778	2,858	2,912	2,907	3,207	合 計	7,711	7,657	7,769	7,092	7,716	項目\年度	H29	H30	R1	R2	R3	栄養指導	5,113	4,173	4,585	5,317	5,262	栄養管理	2,140	3,009	5,700	7,439	8,691	NST介入	442	488	555	696	1,240				
中放内視鏡	2,778	2,858	2,912	2,907	3,207																																					
合 計	7,711	7,657	7,769	7,092	7,716																																					
項目\年度	H29	H30	R1	R2	R3																																					
栄養指導	5,113	4,173	4,585	5,317	5,262																																					
栄養管理	2,140	3,009	5,700	7,439	8,691																																					
NST介入	442	488	555	696	1,240																																					

項目 No.	R 3年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価					自己 評価	評価委員会の検証（案）																																						
		<ul style="list-style-type: none"> ・特に進捗した取組 ・その他の主な取組 ・今後の課題・問題点（●） 																																												
		【満足度調査の比較】 単位：％ <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th rowspan="2"></th> <th colspan="5">満足度</th> </tr> <tr> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">入院</td> <td>当院</td> <td>95.5</td> <td>96.4</td> <td>97.3</td> <td>95.3</td> <td>95.9</td> </tr> <tr> <td>Q Iプロジェクト参加病院 (平均値)</td> <td>89.9</td> <td>89.3</td> <td>88.7</td> <td>81.9</td> <td>91.3</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">外来</td> <td>当院</td> <td>87.2</td> <td>87.9</td> <td>82.7</td> <td>85.0</td> <td>85.3</td> </tr> <tr> <td>Q Iプロジェクト参加病院 (平均値)</td> <td>82.5</td> <td>82.5</td> <td>81.5</td> <td>89.5</td> <td>83.7</td> </tr> </tbody> </table>							満足度					H29	H30	R1	R2	R3	入院	当院	95.5	96.4	97.3	95.3	95.9	Q Iプロジェクト参加病院 (平均値)	89.9	89.3	88.7	81.9	91.3	外来	当院	87.2	87.9	82.7	85.0	85.3	Q Iプロジェクト参加病院 (平均値)	82.5	82.5	81.5	89.5	83.7		
		満足度																																												
		H29	H30	R1	R2	R3																																								
入院	当院	95.5	96.4	97.3	95.3	95.9																																								
	Q Iプロジェクト参加病院 (平均値)	89.9	89.3	88.7	81.9	91.3																																								
外来	当院	87.2	87.9	82.7	85.0	85.3																																								
	Q Iプロジェクト参加病院 (平均値)	82.5	82.5	81.5	89.5	83.7																																								
		※ Q Iプロジェクトデータを全て引用																																												
04	<p>1 近隣の医療機関との役割分担の明確化と連携強化による紹介率・逆紹介率の維持・向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域医療構想を踏まえた病病連携の推進を図るため、定期的に東濃・可児地域病病連携推進会議を開催するとともに、近隣の医療機関との間で急性期医療、回復期医療の提供体制について、意見交換等を行う。 ・診療所等訪問活動チームによる診療所等への訪問活動等を通じ、診療所等との連携を深めるとともに、当院以外でも診療可能な診療科や疾患を分析し、高度急性期・急性期病院としての役割を全うするため、外来診療規模の最適化を推進する。 ・連携予約の強化及びかかりつけ医紹介を推進するとともに、多治見シャトル（病診連携システム）を効果的に活用し、近隣の医療機関との協力体制の充実により紹介・逆紹介を促進する。 	<p>1 近隣の医療機関との役割分担の明確化と連携強化による紹介率・逆紹介率の維持・向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域医療連携センター（前方連携・後方連携）による開業医への訪問活動を実施（15件）し、近隣病院との役割分担の明確化、連携強化を図った。また、診療科の医師も訪問に同行し紹介患者獲得に向けて活動した。 ・各診療科や部門についてのPR用パンフレットを作成、配布した。 ・多治見シャトル（かかりつけ医へ患者の診療予定日をお知らせする仕組み）については、新型コロナウイルス感染拡大のなかにあっても利用件数は増加しており、患者紹介率、逆紹介率としても高い水準を維持することができた。 <p>【多治見シャトル利用】 単位：件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1,626</td> <td>2,043</td> <td>2,840</td> <td>2,834</td> <td>3,273</td> </tr> </tbody> </table> <p>【紹介患者のうち医療連携予約の割合】 単位：％</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>63.7</td> <td>67.0</td> <td>78.4</td> <td>82.0</td> <td>80.7</td> </tr> </tbody> </table>	H29	H30	R1	R2	R3	1,626	2,043	2,840	2,834	3,273	H29	H30	R1	R2	R3	63.7	67.0	78.4	82.0	80.7	IV	多治見シャトルを運用して、病診連携が適切に行えている点が評価できる。																						
H29	H30	R1	R2	R3																																										
1,626	2,043	2,840	2,834	3,273																																										
H29	H30	R1	R2	R3																																										
63.7	67.0	78.4	82.0	80.7																																										

項目 No.	R 3年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価				自己 評価	評価委員会の検証（案）		
		<ul style="list-style-type: none"> ・特に進捗した取組 ・その他の主な取組 ・今後の課題・問題点（●） 							
4	<p>地域の介護・福祉機関との連携強化による地域包括ケアシステムへの貢献</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医療相談室ミーティングの定例開催などにより、退院調整看護師と医療相談員との緊密な連携体制を維持・強化し、退院支援の充実を図る。 ・入院時・退院時にケアマネージャー等を交えたカンファレンスを開催し、患者に関する情報を共有し、地域との密接な連携に努める。 ・転院先、訪設先の訪問活動、Web会議を実施し、地域の関係機関との連携強化に努める。 	【紹介率・逆紹介率】							
		区分\年度	H29	H30	R1	R2			R3
		紹介率 (単位：%)	76.2	75.1	73.4	74.3			72.8
		紹介実件数 (単位：件)	22,651	22,632	20,677	17,048			18,345
		逆紹介率 (単位：%)	88.0	89.2	101.2	98.6			97.4
		逆紹介実件数 (単位：件)	17,437	18,246	19,996	16,590			17,638
		【高度医療機器利用状況】							単位：件
		機器名\年度	H29	H30	R1	R2			R3
		CT	924	892	1,031	856			907
		MR I	666	612	607	601			608
		R I	128	130	158	194			197
		P E T	58	39	50	61			47
		骨密度	66	76	85	79			99
		合 計	1,842	1,749	1,931	1,791			1,858
		【開放型病床利用】							単位：件
区分\年度	H29	H30	R1	R2	R3				
医科	50	26	11	1	11				
歯科	24	24	29	20	35				
<p>4 地域の介護・福祉機関との連携強化による地域包括ケアシステムへの貢献</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 毎週1回、医療相談課全体ミーティング（入退院支援担当看護師、社会福祉士、精神保健福祉士、公認心理師）を開催しており、退院調整看護師と相談員とは、常に情報共有をしながら、連携体制を維持・強化している。その結果、退院支援の介入率は60%から70%を維持した。 ・ 多職種を交えた合同カンファレンスは、Webを活用するなどして進めた。 									

項目 No.	R 3年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価					自己 評価	評価委員会の検証（案）																																	
		<ul style="list-style-type: none"> ・特に進捗した取組 ・その他の主な取組 ・今後の課題・問題点（●） 																																							
		【在宅復帰率】 単位：％ <table border="1"> <thead> <tr> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>87.3</td> <td>92.1</td> <td>91.0</td> <td>91.6</td> <td>92.2</td> </tr> </tbody> </table> 【相談対応件数】 単位：件 <table border="1"> <thead> <tr> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>15,969</td> <td>17,605</td> <td>20,450</td> <td>21,347</td> <td>26,454</td> </tr> </tbody> </table> 【合同カンファレンスの実績】 単位：件 <table border="1"> <thead> <tr> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>313</td> <td>386</td> <td>465</td> <td>450</td> <td>377</td> </tr> </tbody> </table>					H29	H30	R1	R2	R3	87.3	92.1	91.0	91.6	92.2	H29	H30	R1	R2	R3	15,969	17,605	20,450	21,347	26,454	H29	H30	R1	R2	R3	313	386	465	450	377					
H29	H30	R1	R2	R3																																					
87.3	92.1	91.0	91.6	92.2																																					
H29	H30	R1	R2	R3																																					
15,969	17,605	20,450	21,347	26,454																																					
H29	H30	R1	R2	R3																																					
313	386	465	450	377																																					
05	3 がん医療 <ul style="list-style-type: none"> ・地域がん診療連携拠点病院として、質の高いがん医療を提供する体制を確保するとともに、院内がん登録数、がん相談件数等を増加させる。 ・高精度放射線治療装置「ノバリスT_x」「トゥルービーム」の2台体制により、根治照射・予防照射・緩和照射等正確で症例に適した質の高い治療を提供する。 ・化学療法センターの活用により外来化学療法を増進を図る。 ・肝がん・重度肝硬変治療研究促進事業指定医療機関として、肝がん・重度肝硬変治療研究促進事業に引き続き協力していく。 ・がんゲノム医療連携病院として、がん診療連携センターを中心に、がんゲノム医療への積極的な参加が可能となるよう、適宜運用手順等の改善を実施する。 ・ゲノム医療に関する勉強会等をWeb会議も取り入れながら開催するなど、院内スタッフ 	3 がん医療 <ul style="list-style-type: none"> ・高精度放射線治療装置（ノバリスT_x）と新放射線治療装置（トゥルービーム）の稼働により根治照射・予防照射・緩和照射等正確で質の高い治療を提供している。 ・今年度より一度の手技による多病巣治療技術ブレインメッツを岐阜県内で初めて開始し、がん患者のQOL向上に寄与している。 ・がん登録数は1,790件で、前年度より337件増加した。医療相談におけるがん相談件数は1,758件で、177件増加した。 ・ゲノム医療の対象数は32件で、前年度より22件増加した。 ・がん治療と就労の両立支援は、ハローワークと連携して92件のケースを対応し、実際に就労となったケースは5件あった。 ・前々年度よりがん診療連携拠点病院加算の算定増に取り組んでいる。令和元年度は291件、令和2年度は400件、令和3年度は621件について加算を算定した。 【がん患者等の状況】 <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目\年度</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>入院患者数（単位：人）</td> <td>2,805</td> <td>3,060</td> <td>2,858</td> <td>2,808</td> <td>2,671</td> </tr> <tr> <td>外来患者数（単位：人）</td> <td>1,877</td> <td>1,848</td> <td>1,818</td> <td>1,923</td> <td>2,162</td> </tr> <tr> <td>手術件数</td> <td>1,108</td> <td>1,066</td> <td>1,036</td> <td>945</td> <td>959</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">化学療法件数</td> <td>入院</td> <td>1,510</td> <td>1,433</td> <td>1,505</td> <td>1,760</td> <td>1,583</td> </tr> <tr> <td>外来</td> <td>11,610</td> <td>11,842</td> <td>12,704</td> <td>11,176</td> <td>12,528</td> </tr> </tbody> </table>	項目\年度	H29	H30	R1	R2	R3	入院患者数（単位：人）	2,805	3,060	2,858	2,808	2,671	外来患者数（単位：人）	1,877	1,848	1,818	1,923	2,162	手術件数	1,108	1,066	1,036	945	959	化学療法件数	入院	1,510	1,433	1,505	1,760	1,583	外来	11,610	11,842	12,704	11,176	12,528	IV	多病巣治療技術ブレインメッツの導入など質の高いがん医療を提供する体制について評価できる。
項目\年度	H29	H30	R1	R2	R3																																				
入院患者数（単位：人）	2,805	3,060	2,858	2,808	2,671																																				
外来患者数（単位：人）	1,877	1,848	1,818	1,923	2,162																																				
手術件数	1,108	1,066	1,036	945	959																																				
化学療法件数	入院	1,510	1,433	1,505	1,760	1,583																																			
	外来	11,610	11,842	12,704	11,176	12,528																																			

項目 No.	R3年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価					自己 評価	評価委員会の検証（案）																																												
		<ul style="list-style-type: none"> 特に進捗した取組 その他の主な取組 今後の課題・問題点（●） 																																																		
	<p>の知識の向上に努めるとともに連携体制の強化を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> 他施設のがん相談支援センターや行政施設等との連携により、治療と就労の両立など患者の就労支援も含めた相談支援体制の充実を図る。 がん専門看護師やがん関連の認定看護師を適正配置し互いに連携、協働することで、地域がん診療連携拠点病院としての役割を果たす。 	<table border="1"> <tr> <td>放射線治療施行回数</td> <td>入院</td> <td>2,853</td> <td>3,169</td> <td>2,950</td> <td>2,835</td> <td>2,621</td> </tr> <tr> <td></td> <td>外来</td> <td>5,185</td> <td>5,825</td> <td>6,481</td> <td>5,834</td> <td>5,914</td> </tr> </table> <p>【がんパス件数】 単位：件</p> <table border="1"> <tr> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> </tr> <tr> <td>12</td> <td>16</td> <td>6</td> <td>19</td> <td>13</td> </tr> </table> <p>【高精度放射線治療システム（ノバルスTx・トゥルービーム）】</p> <table border="1"> <tr> <th>項目\年度</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> </tr> <tr> <td>患者数（単位：人）</td> <td>344</td> <td>471</td> <td>462</td> <td>446</td> <td>441</td> </tr> <tr> <td>強度変調放射線治療（IMRT）患者数（単位：人）</td> <td>254</td> <td>295</td> <td>337</td> <td>392</td> <td>305</td> </tr> <tr> <td>延べ件数（単位：件）</td> <td>6,491</td> <td>9,413</td> <td>9,714</td> <td>9,040</td> <td>8,911</td> </tr> </table>	放射線治療施行回数	入院	2,853	3,169	2,950	2,835	2,621		外来	5,185	5,825	6,481	5,834	5,914	H29	H30	R1	R2	R3	12	16	6	19	13	項目\年度	H29	H30	R1	R2	R3	患者数（単位：人）	344	471	462	446	441	強度変調放射線治療（IMRT）患者数（単位：人）	254	295	337	392	305	延べ件数（単位：件）	6,491	9,413	9,714	9,040	8,911		
放射線治療施行回数	入院	2,853	3,169	2,950	2,835	2,621																																														
	外来	5,185	5,825	6,481	5,834	5,914																																														
H29	H30	R1	R2	R3																																																
12	16	6	19	13																																																
項目\年度	H29	H30	R1	R2	R3																																															
患者数（単位：人）	344	471	462	446	441																																															
強度変調放射線治療（IMRT）患者数（単位：人）	254	295	337	392	305																																															
延べ件数（単位：件）	6,491	9,413	9,714	9,040	8,911																																															
09	<p>1 医学生、看護学生やコメディカルを目指す学生の実習受入れ</p> <ul style="list-style-type: none"> 医学生、看護学生、コメディカルを目指す学生に対する講義や実習については、今後も積極的に受け入れる。 特に、看護学生については、引き続き専門学校や看護大学の学生の実習を積極的に受け入れるとともに、インターンシップ制度について広報し、多くの看護学生を受け入れ、採用に繋げる。 <p>2 救急救命士の病院実習など地域医療従事者への研修の実施及び充実</p> <ul style="list-style-type: none"> 生涯教育実習、就業前実習、気管挿管実習、薬剤投与実習のほか、救急搬入後の事後検証会を定期的に実施するなど、医療技術の向上を図る。 	<p>1 医学生、看護学生やコメディカルを目指す学生の実習受入れ</p> <ul style="list-style-type: none"> コロナ禍においても、教育機関（計5校）からの実習受け入れを継続した。医学生については、名古屋大学、名古屋市立大学、岐阜大学など関連大学から、感染対策を講じながら積極的に受け入れ実習を行った。また、看護学生やコメディカルも同様に大学や専門学校からの実習を積極的に受け入れた。 教育機関への講師派遣（計27名）も例年通り行った。 インターンシップは感染状況を見ながら受け入れ、長期休暇期間を中心に3月末までに16名の看護学生が参加した。 <p>【学生の実習受入れ状況】 単位：人</p> <table border="1"> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> </tr> <tr> <td>医学生</td> <td>22</td> <td>41</td> <td>52</td> <td>18</td> <td>41</td> </tr> <tr> <td>看護学生</td> <td>458</td> <td>505</td> <td>481</td> <td>426</td> <td>424</td> </tr> <tr> <td>コメディカル</td> <td>59</td> <td>69</td> <td>63</td> <td>67</td> <td>73</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>539</td> <td>615</td> <td>596</td> <td>511</td> <td>538</td> </tr> </table> <p>【医学生の見学受入れ状況】 単位：人</p> <table border="1"> <tr> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> </tr> <tr> <td>92</td> <td>108</td> <td>64</td> <td>30</td> <td>65</td> </tr> </table>	区分\年度	H29	H30	R1	R2	R3	医学生	22	41	52	18	41	看護学生	458	505	481	426	424	コメディカル	59	69	63	67	73	合計	539	615	596	511	538	H29	H30	R1	R2	R3	92	108	64	30	65	IV	救急救命士の研修実績の増加した点は評価できる。								
区分\年度	H29	H30	R1	R2	R3																																															
医学生	22	41	52	18	41																																															
看護学生	458	505	481	426	424																																															
コメディカル	59	69	63	67	73																																															
合計	539	615	596	511	538																																															
H29	H30	R1	R2	R3																																																
92	108	64	30	65																																																

項目 No.	R 3年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価				自己 評価	評価委員会の検証（案）																																				
		<ul style="list-style-type: none"> ・特に進捗した取組 ・その他の主な取組 ・今後の課題・問題点（●） 																																									
		<p>2 救急救命士の病院実習など地域医療従事者への研修の実施及び充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 救急救命士に対しては、生涯教育実習、就業前実習、気管挿管実習、薬剤投与実習のほか、救急搬入後の事後検証会を定期的に実施した。 <p>【救急救命士の研修実績状況】 単位：人</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>生涯教育実習</td> <td>54</td> <td>78</td> <td>82</td> <td>76</td> <td>83</td> </tr> <tr> <td>就業前実習</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>8</td> <td>7</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>気管挿管実習</td> <td>4</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>6</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>薬剤投与実習</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>6</td> <td>7</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>63</td> <td>86</td> <td>98</td> <td>96</td> <td>104</td> </tr> </tbody> </table>				区分\年度	H29	H30	R1	R2	R3	生涯教育実習	54	78	82	76	83	就業前実習	4	4	8	7	9	気管挿管実習	4	2	2	6	6	薬剤投与実習	1	2	6	7	6	合 計	63	86	98	96	104		
区分\年度	H29	H30	R1	R2	R3																																						
生涯教育実習	54	78	82	76	83																																						
就業前実習	4	4	8	7	9																																						
気管挿管実習	4	2	2	6	6																																						
薬剤投与実習	1	2	6	7	6																																						
合 計	63	86	98	96	104																																						
11	<p>社会的な要請への協力</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染拡大状況も考慮しながら、自治体、医師会等の社会的な要請に応じ、医療に関する鑑定・調査及び講師派遣を行う。 ・また、自治体等で開催される各種イベントでの救急患者対応等の協力を行う。 ・医療系専門学校、大学、企業、地域や介護老人福祉施設などの要請に応じ、講師の派遣などを行う。 ・地域の中학생、高校生の職場体験実習に協力する。 	<p>社会的な要請への協力</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自治体、看護協会等からの要請に応じ、認定看護師を中心に講師派遣を行った。 ・ 新型コロナ感染拡大時においては行政からの要請に応じ、宿泊療養施設やワクチン集団接種会場への看護師派遣を行った。 ・ 東濃地域の医療機関や高齢者施設への感染予防対策支援及びクラスター発生時の体制整備のため、感染管理認定看護師を派遣した。 ・ 医療系専門学校、大学、企業、地域、近隣の病院や施設等の要請に応じ、コメディカル等を講師として派遣した。 <p>【講師等派遣の状況】 単位：人</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医師</td> <td>222</td> <td>179</td> <td>201</td> <td>106</td> <td>197</td> </tr> <tr> <td>看護師</td> <td>64</td> <td>55</td> <td>29</td> <td>40</td> <td>39</td> </tr> <tr> <td>コメディカル</td> <td>32</td> <td>46</td> <td>65</td> <td>22</td> <td>17</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>318</td> <td>280</td> <td>295</td> <td>168</td> <td>253</td> </tr> </tbody> </table>				区分\年度	H29	H30	R1	R2	R3	医師	222	179	201	106	197	看護師	64	55	29	40	39	コメディカル	32	46	65	22	17	合 計	318	280	295	168	253	IV	<p>新型コロナウイルス感染症対策について、地域の社会的要請に対応したことは十分評価できる。</p>						
区分\年度	H29	H30	R1	R2	R3																																						
医師	222	179	201	106	197																																						
看護師	64	55	29	40	39																																						
コメディカル	32	46	65	22	17																																						
合 計	318	280	295	168	253																																						
16	<p>1 新型インフルエンザ等発生時における受入れ体制の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 新型インフルエンザ等発生時における業務計画に沿った新型インフルエンザ等対策について、職員への周知と、必要な物資及び資材の 	<p>1 新型インフルエンザ等発生時における受入れ体制の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 新型コロナウイルス感染症患者の受け入れを行っており、そのためのマニュアル作成や、必要な物資、資材の備蓄等を実施している。当該マニュアル等は、メール等を利用し、職員へ周知した。 ・ 地域連携加算病院や地域の高齢者施設におけるクラスター対応のため、直接施設へ 				IV	<p>東濃圏域の感染症指定医療機関として、新型コロナウイルス感染症の対応に大きな貢献をしていることが評価できる。</p>																																				

項目 No.	R 3年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価				自己 評価	評価委員会の検証（案）																																								
		<ul style="list-style-type: none"> ・特に進捗した取組 ・その他の主な取組 ・今後の課題・問題点（●） 																																													
	備蓄等の整備を計画的に実施する。 3 感染症指定医療機関としての役割の発揮 ・感染防止対策地域連携病院として情報共有、感染管理支援を強化する。また、他施設、開業医へ感染対策の支援等を実施する。 ・東濃地区のICTと感染対策、治療等に関する情報交換を推進する。	訪問し、指導を行った。 3 感染症指定医療機関としての役割の発揮 ・感染防止対策地域連携病院として、他施設、開業医に対し、情報共有や感染対策の支援等を実施した。 ・新型コロナウイルスの感染予防対策や治療等について、他施設等を対象としたWeb勉強会を開催した。また、東濃地区の施設からの質問等を受け付け、それに対応した。																																													
24	1 効果的な病床管理、医療機器の効率的な活用 ・診療所等訪問活動チームによる診療所等との連携強化により新規入院患者の増加等による病床利用率の向上や、入退院支援センターによる退院調整の推進等による在院日数の適正化に努める。 ・高度医療機器の共同利用促進については、開業医訪問活動等を通じて継続的に検査情報を提供しながらPRを進める。 ・診療科別、部門別の原価計算を導入し、財務的な改善点を認識するとともに、組織全体の経済的な健全性の強化を図る。 2 未収金の発生防止対策等 ・診療所等訪問活動チームによる診療所等との連携強化により新規入院患者の増加等による病床利用率の向上や、入退院支援センターによる退院調整の推進等による在院日数の適正化に努める。 ・高度医療機器の共同利用促進については、開業医訪問活動等を通じて継続的に検査情報を提供しながらPRを進める。 ・診療科別、部門別の原価計算を導入し、財務	1 効果的な病床管理、医療機器の効率的な活用 ・地域内外の病院や診療所など109ヶ所程と情報交換を進め、退院調整を行った。入院前支援も積極的に行き、退院調整も早期から関わることにより、DPCⅡの期間越えの入院患者数は累計で前年度より12%減少した。 ・消化器内科、循環器内科、腎臓内科、血液内科、呼吸器内科、外科、整形外科、泌尿器科の8診療科について外部業者の支援を受けながら、試行的に原価計算を実施した。 ・地域医療連携センター（前方連携・後方連携）による開業医への訪問活動を実施。診療科の医師も同行し、紹介患者獲得に向けて活動した。 【病床管理状況】 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th colspan="2">項目\年度</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">新規入院患者（単位：人）</td> <td>13,886</td> <td>14,498</td> <td>14,781</td> <td>14,654</td> </tr> <tr> <td colspan="2">延入院患者（単位：人）</td> <td>172,398</td> <td>176,770</td> <td>167,723</td> <td>165,889</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">平均在院日数 （単位：日）</td> <td>全体</td> <td>11.4</td> <td>11.2</td> <td>10.4</td> <td>10.3</td> </tr> <tr> <td>一般</td> <td>10.8</td> <td>10.6</td> <td>9.9</td> <td>9.9</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">一人当たり 入院単価 （単位：円）</td> <td>全体</td> <td>65,152</td> <td>66,161</td> <td>71,328</td> <td>71,960</td> </tr> <tr> <td>一般</td> <td>67,672</td> <td>68,689</td> <td>73,681</td> <td>74,227</td> </tr> </tbody> </table>				項目\年度		H28	H29	H30	R1	新規入院患者（単位：人）		13,886	14,498	14,781	14,654	延入院患者（単位：人）		172,398	176,770	167,723	165,889	平均在院日数 （単位：日）	全体	11.4	11.2	10.4	10.3	一般	10.8	10.6	9.9	9.9	一人当たり 入院単価 （単位：円）	全体	65,152	66,161	71,328	71,960	一般	67,672	68,689	73,681	74,227	IV	前年度よりも入院患者数が増加し、平均在院日数の短縮や一人当たり入院単価の増額したことが評価できる。 また、外部業者を活用し、収入確保の取組みを行ったことも評価できる。
項目\年度		H28	H29	H30	R1																																										
新規入院患者（単位：人）		13,886	14,498	14,781	14,654																																										
延入院患者（単位：人）		172,398	176,770	167,723	165,889																																										
平均在院日数 （単位：日）	全体	11.4	11.2	10.4	10.3																																										
	一般	10.8	10.6	9.9	9.9																																										
一人当たり 入院単価 （単位：円）	全体	65,152	66,161	71,328	71,960																																										
	一般	67,672	68,689	73,681	74,227																																										

項目 No.	R 3年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価				自己 評価	評価委員会の検証（案）																		
		<ul style="list-style-type: none"> ・特に進捗した取組 ・その他の主な取組 ・今後の課題・問題点（●） 																							
<p>的な改善点を認識するとともに、組織全体の経済的な健全性の強化を図る。</p> <p>3 国の医療制度改革や診療報酬改定等の迅速な対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・DPC特定病院群維持のため、診療密度の向上や入院期間のチェック・適正なDPCコーディング、外部コンサルによる客観的な点検を行い、院内へ周知し改善を図る。 ・診療報酬の加算への対応や施設基準の届出等手続きに遺漏がないよう、各部門と連携し適切に対応していく。 ・看護必要度向上のため、必要な入力チェックや看護部へ分析情報をフィードバックする。 	<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目\年度</th> <th>R2</th> <th>R3</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>新規入院患者（単位：人）</td> <td>13,123</td> <td>13,966</td> </tr> <tr> <td>延入院患者（単位：人）</td> <td>148,961</td> <td>159,465</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">平均在院日数 （単位：日）</td> <td>全体</td> <td>10.4</td> </tr> <tr> <td>一般</td> <td>10.1</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">一人当たり 入院単価 （単位：円）</td> <td>全体</td> <td>76,556</td> </tr> <tr> <td>一般</td> <td>78,616</td> </tr> </tbody> </table>	項目\年度	R2	R3	新規入院患者（単位：人）	13,123	13,966	延入院患者（単位：人）	148,961	159,465	平均在院日数 （単位：日）	全体	10.4	一般	10.1	一人当たり 入院単価 （単位：円）	全体	76,556	一般	78,616					
	項目\年度	R2	R3																						
	新規入院患者（単位：人）	13,123	13,966																						
	延入院患者（単位：人）	148,961	159,465																						
	平均在院日数 （単位：日）	全体	10.4																						
		一般	10.1																						
	一人当たり 入院単価 （単位：円）	全体	76,556																						
		一般	78,616																						
		(参考)																							
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目\年度</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一日当たり外来患者数 （単位：人）</td> <td>1,119</td> <td>1,115</td> <td>1,139</td> <td>1,128</td> </tr> <tr> <td>一人当たり外来単価 （単位：円）</td> <td>16,990</td> <td>17,575</td> <td>18,207</td> <td>19,638</td> </tr> </tbody> </table>	項目\年度	H28	H29	H30	R1	一日当たり外来患者数 （単位：人）	1,119	1,115	1,139	1,128	一人当たり外来単価 （単位：円）	16,990	17,575	18,207	19,638								
	項目\年度	H28	H29	H30	R1																				
	一日当たり外来患者数 （単位：人）	1,119	1,115	1,139	1,128																				
	一人当たり外来単価 （単位：円）	16,990	17,575	18,207	19,638																				
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目\年度</th> <th>R2</th> <th>R3</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一日当たり外来患者数 （単位：人）</td> <td>1,015</td> <td>1,068</td> </tr> <tr> <td>一人当たり外来単価 （単位：円）</td> <td>21,851</td> <td>21,346</td> </tr> </tbody> </table>	項目\年度	R2	R3	一日当たり外来患者数 （単位：人）	1,015	1,068	一人当たり外来単価 （単位：円）	21,851	21,346														
	項目\年度	R2	R3																						
一日当たり外来患者数 （単位：人）	1,015	1,068																							
一人当たり外来単価 （単位：円）	21,851	21,346																							
	<p>2 未収金の発生防止対策等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医療相談担当と医事担当で連携を図り、診療の初期段階から患者の状況に応じた制度の適用等について積極的に介入する等、未収金発生の未然防止に取り組んだ。 ・令和3年度の未収金額は22,152,000円であり、前年度と比較して1,412,000円減少した。 ・未収金が発生した際には、分納誓約等を締結し、定期的に入金させるとともに、督促電話等を積極的に行った。 																								

項目 No.	R 3年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価					自己 評価	評価委員会の検証（案）																																																																				
		<ul style="list-style-type: none"> ・特に進捗した取組 ・その他の主な取組 ・今後の課題・問題点（●） 																																																																										
		<p>【未収金の発生状況】 (各年度末時点※)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">H28</th> <th colspan="2">H29</th> <th colspan="2">H30</th> </tr> <tr> <th>件数 (件)</th> <th>金額 (千円)</th> <th>件数 (件)</th> <th>金額 (千円)</th> <th>件数 (件)</th> <th>金額 (千円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>過年分</td> <td>422</td> <td>29,625</td> <td>315</td> <td>30,815</td> <td>279</td> <td>26,132</td> </tr> <tr> <td>現年分</td> <td>582</td> <td>22,760</td> <td>487</td> <td>22,584</td> <td>314</td> <td>19,910</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>1,004</td> <td>52,385</td> <td>802</td> <td>53,399</td> <td>593</td> <td>46,042</td> </tr> </tbody> </table> <p>※年度末時点での4月以降の診療報酬収納分を除く</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">R1</th> <th colspan="2">R2</th> <th colspan="2">R3</th> </tr> <tr> <th>件数 (件)</th> <th>金額 (千円)</th> <th>件数 (件)</th> <th>金額 (千円)</th> <th>件数 (件)</th> <th>金額 (千円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>過年分</td> <td>281</td> <td>21,386</td> <td>317</td> <td>22,013</td> <td>329</td> <td>26,200</td> </tr> <tr> <td>現年分</td> <td>511</td> <td>22,485</td> <td>518</td> <td>23,564</td> <td>574</td> <td>22,152</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>792</td> <td>43,871</td> <td>835</td> <td>45,577</td> <td>903</td> <td>48,352</td> </tr> </tbody> </table> <p>3 国の医療制度改革や診療報酬改定等の迅速な対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ D P C特定機能病院や総合入院体制加算 I を維持した。診療報酬委員会においては、外部コンサルによる分析結果の周知、提案を行った。 ・ 2022 年度診療報酬改定の情報収集や、院内への周知、施設基準の届出等を行い、加算要件等に注意しながら各部門と調整した。 						H28		H29		H30		件数 (件)	金額 (千円)	件数 (件)	金額 (千円)	件数 (件)	金額 (千円)	過年分	422	29,625	315	30,815	279	26,132	現年分	582	22,760	487	22,584	314	19,910	合計	1,004	52,385	802	53,399	593	46,042		R1		R2		R3		件数 (件)	金額 (千円)	件数 (件)	金額 (千円)	件数 (件)	金額 (千円)	過年分	281	21,386	317	22,013	329	26,200	現年分	511	22,485	518	23,564	574	22,152	合計	792	43,871	835	45,577	903	48,352		
	H28		H29		H30																																																																							
	件数 (件)	金額 (千円)	件数 (件)	金額 (千円)	件数 (件)	金額 (千円)																																																																						
過年分	422	29,625	315	30,815	279	26,132																																																																						
現年分	582	22,760	487	22,584	314	19,910																																																																						
合計	1,004	52,385	802	53,399	593	46,042																																																																						
	R1		R2		R3																																																																							
	件数 (件)	金額 (千円)	件数 (件)	金額 (千円)	件数 (件)	金額 (千円)																																																																						
過年分	281	21,386	317	22,013	329	26,200																																																																						
現年分	511	22,485	518	23,564	574	22,152																																																																						
合計	792	43,871	835	45,577	903	48,352																																																																						
26	<p>予算（人件費の見積含む。）、収支計画及び資金計画</p> <p>「2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するための取組」で定めた計画を確実に実施することにより、業務運営の改善及び効率化を効果的に進めるなどして、経常収支比率100%以上、医業収支比率100%以上及び職員給与費対医業収益比率を50%以下とすることを旨とする。</p>	<p>予算（人件費の見積含む。）、収支計画及び資金計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 薬品費、診療材料費の増により、経常収支比率 99.5%となった。職員給与費対医業収益比率は目標の 50%以下を上回ったため、業務の効率化や医業収益の更なる増収を目指していく。 <p>【経常収支比率・職員給与費対医業収益比率】 単位：%</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>経常収支</td> <td>102.0</td> <td>100.2</td> <td>95.5</td> <td>97.1</td> <td>99.5</td> </tr> <tr> <td>職員給与費</td> <td>51.0</td> <td>52.5</td> <td>54.4</td> <td>58.0</td> <td>53.0</td> </tr> </tbody> </table>	区分\年度	H29	H30	R1	R2	R3	経常収支	102.0	100.2	95.5	97.1	99.5	職員給与費	51.0	52.5	54.4	58.0	53.0	II	<p>新型コロナウイルス感染症の感染拡大時において、職員給与費対医業収益比率が前年度よりも低下している点は評価できるが、黒字化を目指された。</p>																																																						
区分\年度	H29	H30	R1	R2	R3																																																																							
経常収支	102.0	100.2	95.5	97.1	99.5																																																																							
職員給与費	51.0	52.5	54.4	58.0	53.0																																																																							

項目 No.	R 3年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		自己 評価	評価委員会の検証（案）																																																																
		<ul style="list-style-type: none"> ・特に進捗した取組 ・その他の主な取組 ・今後の課題・問題点（●） 																																																																			
		1 決算 (単位：百万円)																																																																			
		<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: left;">区 分</th> <th style="text-align: right;">金 額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">収入</td> </tr> <tr> <td>営業収益</td> <td style="text-align: right;">22,788</td> </tr> <tr> <td> 医業収益</td> <td style="text-align: right;">20,403</td> </tr> <tr> <td> 運営費負担金収益</td> <td style="text-align: right;">1,289</td> </tr> <tr> <td> その他営業収益</td> <td style="text-align: right;">1,096</td> </tr> <tr> <td>営業外収益</td> <td style="text-align: right;">97</td> </tr> <tr> <td> 運営費負担金収益</td> <td style="text-align: right;">11</td> </tr> <tr> <td> その他営業外収益</td> <td style="text-align: right;">86</td> </tr> <tr> <td>資本収入</td> <td style="text-align: right;">1,185</td> </tr> <tr> <td> 長期借入金</td> <td style="text-align: right;">836</td> </tr> <tr> <td> 運営費負担金</td> <td style="text-align: right;">265</td> </tr> <tr> <td> その他資本収入</td> <td style="text-align: right;">84</td> </tr> <tr> <td>その他の収入</td> <td style="text-align: right;">0</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td style="text-align: right;">24,070</td> </tr> <tr> <td colspan="2">支出</td> </tr> <tr> <td>営業費用</td> <td style="text-align: right;">19,196</td> </tr> <tr> <td> 医業費用</td> <td style="text-align: right;">18,531</td> </tr> <tr> <td> 給与費</td> <td style="text-align: right;">9,190</td> </tr> <tr> <td> 材料費</td> <td style="text-align: right;">6,027</td> </tr> <tr> <td> 経費</td> <td style="text-align: right;">3,280</td> </tr> <tr> <td> 研究研修費</td> <td style="text-align: right;">34</td> </tr> <tr> <td> 一般管理費</td> <td style="text-align: right;">665</td> </tr> <tr> <td> 給与費</td> <td style="text-align: right;">461</td> </tr> <tr> <td> 経費</td> <td style="text-align: right;">204</td> </tr> <tr> <td>営業外費用</td> <td style="text-align: right;">78</td> </tr> <tr> <td>資本支出</td> <td style="text-align: right;">2,085</td> </tr> <tr> <td> 建設改良費</td> <td style="text-align: right;">1,596</td> </tr> <tr> <td> 償還金</td> <td style="text-align: right;">468</td> </tr> <tr> <td> その他資本支出</td> <td style="text-align: right;">21</td> </tr> <tr> <td>その他の支出</td> <td style="text-align: right;">0</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td style="text-align: right;">21,359</td> </tr> </tbody> </table>		区 分	金 額	収入		営業収益	22,788	医業収益	20,403	運営費負担金収益	1,289	その他営業収益	1,096	営業外収益	97	運営費負担金収益	11	その他営業外収益	86	資本収入	1,185	長期借入金	836	運営費負担金	265	その他資本収入	84	その他の収入	0	計	24,070	支出		営業費用	19,196	医業費用	18,531	給与費	9,190	材料費	6,027	経費	3,280	研究研修費	34	一般管理費	665	給与費	461	経費	204	営業外費用	78	資本支出	2,085	建設改良費	1,596	償還金	468	その他資本支出	21	その他の支出	0	計	21,359		
区 分	金 額																																																																				
収入																																																																					
営業収益	22,788																																																																				
医業収益	20,403																																																																				
運営費負担金収益	1,289																																																																				
その他営業収益	1,096																																																																				
営業外収益	97																																																																				
運営費負担金収益	11																																																																				
その他営業外収益	86																																																																				
資本収入	1,185																																																																				
長期借入金	836																																																																				
運営費負担金	265																																																																				
その他資本収入	84																																																																				
その他の収入	0																																																																				
計	24,070																																																																				
支出																																																																					
営業費用	19,196																																																																				
医業費用	18,531																																																																				
給与費	9,190																																																																				
材料費	6,027																																																																				
経費	3,280																																																																				
研究研修費	34																																																																				
一般管理費	665																																																																				
給与費	461																																																																				
経費	204																																																																				
営業外費用	78																																																																				
資本支出	2,085																																																																				
建設改良費	1,596																																																																				
償還金	468																																																																				
その他資本支出	21																																																																				
その他の支出	0																																																																				
計	21,359																																																																				
		(注記 略)																																																																			

項目 No.	R 3年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証（案）																																																											
		<ul style="list-style-type: none"> ・特に進捗した取組 ・その他の主な取組 ・今後の課題・問題点（●） 	自己 評価																																																												
		2 収支計画に対する実績 (単位：百万円) <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">区 分</th> <th style="text-align: center;">金 額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>収益の部</td> <td style="text-align: right;">20,850</td> </tr> <tr> <td> 営業収益</td> <td style="text-align: right;">20,746</td> </tr> <tr> <td> 医業収益</td> <td style="text-align: right;">18,391</td> </tr> <tr> <td> 運営費負担金収益</td> <td style="text-align: right;">1,254</td> </tr> <tr> <td> 資産見返負債戻入</td> <td style="text-align: right;">6</td> </tr> <tr> <td> その他営業収益</td> <td style="text-align: right;">1,095</td> </tr> <tr> <td> 営業外収益</td> <td style="text-align: right;">98</td> </tr> <tr> <td> 運営費負担金収益</td> <td style="text-align: right;">20</td> </tr> <tr> <td> その他営業外収益</td> <td style="text-align: right;">78</td> </tr> <tr> <td> 臨時利益</td> <td style="text-align: right;">6</td> </tr> <tr> <td>費用の部</td> <td style="text-align: right;">20,961</td> </tr> <tr> <td> 営業費用</td> <td style="text-align: right;">19,931</td> </tr> <tr> <td> 医業費用</td> <td style="text-align: right;">19,251</td> </tr> <tr> <td> 給与費</td> <td style="text-align: right;">9,302</td> </tr> <tr> <td> 材料費</td> <td style="text-align: right;">5,461</td> </tr> <tr> <td> 経費</td> <td style="text-align: right;">3,012</td> </tr> <tr> <td> 減価償却費</td> <td style="text-align: right;">1,443</td> </tr> <tr> <td> 研究研修費</td> <td style="text-align: right;">33</td> </tr> <tr> <td> 一般管理費</td> <td style="text-align: right;">680</td> </tr> <tr> <td> 給与費</td> <td style="text-align: right;">453</td> </tr> <tr> <td> 減価償却費</td> <td style="text-align: right;">41</td> </tr> <tr> <td> 経費</td> <td style="text-align: right;">186</td> </tr> <tr> <td> 営業外費用</td> <td style="text-align: right;">1,028</td> </tr> <tr> <td> 臨時損失</td> <td style="text-align: right;">2</td> </tr> <tr> <td> 予備費</td> <td style="text-align: right;">0</td> </tr> <tr> <td>純損失</td> <td style="text-align: right;">▲111</td> </tr> <tr> <td>目的積立金取崩額</td> <td style="text-align: right;">0</td> </tr> <tr> <td>総損失</td> <td style="text-align: right;">▲111</td> </tr> </tbody> </table> (注記 略)		区 分	金 額	収益の部	20,850	営業収益	20,746	医業収益	18,391	運営費負担金収益	1,254	資産見返負債戻入	6	その他営業収益	1,095	営業外収益	98	運営費負担金収益	20	その他営業外収益	78	臨時利益	6	費用の部	20,961	営業費用	19,931	医業費用	19,251	給与費	9,302	材料費	5,461	経費	3,012	減価償却費	1,443	研究研修費	33	一般管理費	680	給与費	453	減価償却費	41	経費	186	営業外費用	1,028	臨時損失	2	予備費	0	純損失	▲111	目的積立金取崩額	0	総損失	▲111		
区 分	金 額																																																														
収益の部	20,850																																																														
営業収益	20,746																																																														
医業収益	18,391																																																														
運営費負担金収益	1,254																																																														
資産見返負債戻入	6																																																														
その他営業収益	1,095																																																														
営業外収益	98																																																														
運営費負担金収益	20																																																														
その他営業外収益	78																																																														
臨時利益	6																																																														
費用の部	20,961																																																														
営業費用	19,931																																																														
医業費用	19,251																																																														
給与費	9,302																																																														
材料費	5,461																																																														
経費	3,012																																																														
減価償却費	1,443																																																														
研究研修費	33																																																														
一般管理費	680																																																														
給与費	453																																																														
減価償却費	41																																																														
経費	186																																																														
営業外費用	1,028																																																														
臨時損失	2																																																														
予備費	0																																																														
純損失	▲111																																																														
目的積立金取崩額	0																																																														
総損失	▲111																																																														
		3 資金計画に対する実績 (単位：百万円)																																																													

項目 No.	R 3年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		自己 評価	評価委員会の検証（案）																																																				
		<ul style="list-style-type: none"> ・特に進捗した取組 ・その他の主な取組 ・今後の課題・問題点（●） 																																																							
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>金 額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>資金収入</td> <td>31,961</td> </tr> <tr> <td> 業務活動による収入</td> <td>21,196</td> </tr> <tr> <td> 診療業務による収入</td> <td>18,513</td> </tr> <tr> <td> 運営費負担金による収入</td> <td>1,275</td> </tr> <tr> <td> その他の業務活動による収入</td> <td>1,408</td> </tr> <tr> <td> 投資活動による収入</td> <td>149</td> </tr> <tr> <td> 運営費負担金による収入</td> <td>38</td> </tr> <tr> <td> その他の投資活動による収入</td> <td>111</td> </tr> <tr> <td> 財務活動による収入</td> <td>1,063</td> </tr> <tr> <td> 長期借入による収入</td> <td>836</td> </tr> <tr> <td> その他の財務活動による収入</td> <td>227</td> </tr> <tr> <td>前事業年度からの繰越金</td> <td>9,553</td> </tr> <tr> <td>資金支出</td> <td>31,961</td> </tr> <tr> <td> 業務活動による支出</td> <td>19,768</td> </tr> <tr> <td> 給与費支出</td> <td>7,951</td> </tr> <tr> <td> 材料費支出</td> <td>6,054</td> </tr> <tr> <td> その他の業務活動による支出</td> <td>5,763</td> </tr> <tr> <td> 投資活動による支出</td> <td>1,277</td> </tr> <tr> <td> 有形固定資産の取得による支出</td> <td>1,252</td> </tr> <tr> <td> その他の投資活動による支出</td> <td>25</td> </tr> <tr> <td> 財務活動による支出</td> <td>468</td> </tr> <tr> <td> 長期借入金の返済による支出</td> <td>358</td> </tr> <tr> <td> 移行前地方債償還債務の償還による支出</td> <td>90</td> </tr> <tr> <td> その他財務活動による支出</td> <td>20</td> </tr> <tr> <td>翌事業年度への繰越金</td> <td>10,448</td> </tr> </tbody> </table>	区 分	金 額	資金収入	31,961	業務活動による収入	21,196	診療業務による収入	18,513	運営費負担金による収入	1,275	その他の業務活動による収入	1,408	投資活動による収入	149	運営費負担金による収入	38	その他の投資活動による収入	111	財務活動による収入	1,063	長期借入による収入	836	その他の財務活動による収入	227	前事業年度からの繰越金	9,553	資金支出	31,961	業務活動による支出	19,768	給与費支出	7,951	材料費支出	6,054	その他の業務活動による支出	5,763	投資活動による支出	1,277	有形固定資産の取得による支出	1,252	その他の投資活動による支出	25	財務活動による支出	468	長期借入金の返済による支出	358	移行前地方債償還債務の償還による支出	90	その他財務活動による支出	20	翌事業年度への繰越金	10,448			
区 分	金 額																																																								
資金収入	31,961																																																								
業務活動による収入	21,196																																																								
診療業務による収入	18,513																																																								
運営費負担金による収入	1,275																																																								
その他の業務活動による収入	1,408																																																								
投資活動による収入	149																																																								
運営費負担金による収入	38																																																								
その他の投資活動による収入	111																																																								
財務活動による収入	1,063																																																								
長期借入による収入	836																																																								
その他の財務活動による収入	227																																																								
前事業年度からの繰越金	9,553																																																								
資金支出	31,961																																																								
業務活動による支出	19,768																																																								
給与費支出	7,951																																																								
材料費支出	6,054																																																								
その他の業務活動による支出	5,763																																																								
投資活動による支出	1,277																																																								
有形固定資産の取得による支出	1,252																																																								
その他の投資活動による支出	25																																																								
財務活動による支出	468																																																								
長期借入金の返済による支出	358																																																								
移行前地方債償還債務の償還による支出	90																																																								
その他財務活動による支出	20																																																								
翌事業年度への繰越金	10,448																																																								
27	<p>3 職員のモチベーション向上に資する取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 新型コロナウイルス感染症拡大に伴う職員のモチベーション低下を防止するための対策を講じる。 ・ 職員食堂においては、新メニューを考案し提供する等、福利厚生の実を図る。 ・ 職員の福利厚生充実に向け、継続的に他院の状況や職員ニーズの把握等に努める。 	<p>3 職員のモチベーション向上に資する取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 目標管理と連動し、公正で客観的な人事評価制度の円滑な運用に努めた。 ・ 新型コロナウイルス感染症対策業務手当・作業手当、後方施設勤務手当の支給を継続し、モチベーション維持に努めた。 ・ 国の補助金制度を利用して看護職員処遇改善手当を新設し、看護職員のモチベーション維持に努めた。 ・ 食堂については職員満足度アンケートを行い、職員のニーズの把握に努めた。 ・ 独立行政法人化した年度より実施している、院長と医師全員との面談において、医師 	IV	<p>職員のモチベーション向上に資する取組みを積極的に行っており評価できる。</p>																																																					

項目 No.	R 3年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証（案）
		<ul style="list-style-type: none"> ・特に進捗した取組 ・その他の主な取組 ・今後の課題・問題点（●） 	自己 評価	
		<p>の目標を明確化するとともに、医師からの要望を把握した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 専門医等の医師増員を受け、医局の分室を整備して、環境の配慮を行った。 		
28	<p>岐阜県及び他の地方独立行政法人との連携に関する事項</p> <p>1 県との連携・強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 新中央診療棟の整備について、岐阜県と緊密に連携し、適時適切な財政支援、法規制や発注業務に対する助言指導を受けながら着実に進める。 ・ 岐阜県立多治見看護専門学校に対して、病院の医師・看護師等を専任教員または非常勤講師として派遣するなど、同校との連携の強化に努める。 <p>2 他の地方独立行政法人との連携・強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 医師、看護師やコメディカルなどの医療従事者の人事交流や、災害時における協力体制など岐阜県が設立した他の地方独立行政法人との連携を推進する。 	<p>岐阜県及び他の地方独立行政法人との連携に関する事項</p> <p>1 県との連携・強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 岐阜県立多治見看護専門学校に対して、病院の医師・看護師等を専任教員または非常勤講師として派遣し、同校との連携の強化に努めた。 ・ 新中央診療棟の整備について岐阜県と緊密に連携し、指導助言を受けながら、適時適切に工事を発注することができた。 <p>2 他の地方独立行政法人との連携・強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 下呂温泉病院より医師2名、総合医療センターより看護師2名を採用した。 	III	他の地方独立行政法人への人的支援をより強化されたい。
29	<p>1 新中央診療棟などの施設の計画的な整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 新中央診療棟整備第一期工事については、発注手続きを開始する。施工業者と契約締結し、令和6年の新棟開設を目指し着工する。また、第一期工事の発注に併せて既存棟（東病棟）の一部先行改修工事を施工する。 ・ 関連事業である立体駐車場の整備では、西側立体駐車場に続き、令和3年5月末に東側立体駐車場の完成・引渡しを受け、供用を開始する。また、病院前市道の拡幅整備を新中央診療棟整備に影響が及ばないよう段階的に進める。 	<p>1 新中央診療棟などの施設の計画的な整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 新中央診療棟整備第一期工事について、建築工事、電気設備工事、空調設備工事、衛生設備工事、エレベーター設備工事の5工種で競争入札の上、それぞれ施工業者を決定した。令和3年9月に工事着工することができた。先行して既存棟（東病棟）の一部先行改修工事を施工した。 ・ 東側立体駐車場が令和3年5月末に完成し、6月から運用を開始した。また、病院前市道整備については、病院入口交差点から南へ部分的に歩道を整備した。 	IV	新中央診療棟の整備が適切に進んでいる点が評価できる。